



前回のあらすじ

元々
真面目な青年だった
『秋月 ヒロト』は、
少女を交通事故から
守って天に召され、
なんやかんやあって
異世界に転生!!

転生はコチラ

ヒロトは、夫の近くで
人妻と不倫セックスをすると
人妻の使える魔法やスキルを
習得できる『不倫勇者』となり

魔王から世界を救うために
道中出会ったフティ王国の
第二王女『ルベルレオノーラ』と
王都へ向かっていた!!

そして現在、
とある宿屋――。

ヒロトさん……♡

ちゅっ……♡
ちゅっ……♡

ヒロトさん……♡

ダメですよ
ルベルさん

そろそろ
支度しないと……

でも……

ヒロトさんの
ごっ

す……
す

すっごくおつきへ
なってますよ……? ♡

あんなに
たくさんシたのに

ほんとヒロトさんの
おちんちんは元気ですね ♡

うっ……



あっ♡

ル、ルベルさんが
えっちな身体で
誘惑してくるからですよ……



つつつ……!!



ルベルさんつつ!!

良いんですか……?♡

触るだけで







今日は……
王都に着くかな……



寄り道したく
ならなければ……♡

あはは……



大丈夫だと
思います
また……

また……？



うわああああ!!
すごい!!
これが王都!!

でかいし、
人もたくさんだ!!



クククク

つて……あの……
ルベルさん……
どうしたの……?



い、いえ……
その……
一応私
有名人なので……
その……



ん?
あ、あれ……?
もしかして
囲まれてる……?



そういえば
ルベルさん王都から
夜逃げしたんだったね……



ヒロトさんっ!!

お迎えにあがりました
勇者様……

私はフティ王国
騎士団長の
シエルです

う、うわあ……
なんて綺麗な人
なんだ……

お、お姉ちゃん!?
ど、どうして!?

あなた達が王都の近くまで
来ていると一報があったので
迎えに来ただけです

聞いていたよりも
随分と遅い
到着でしたが……

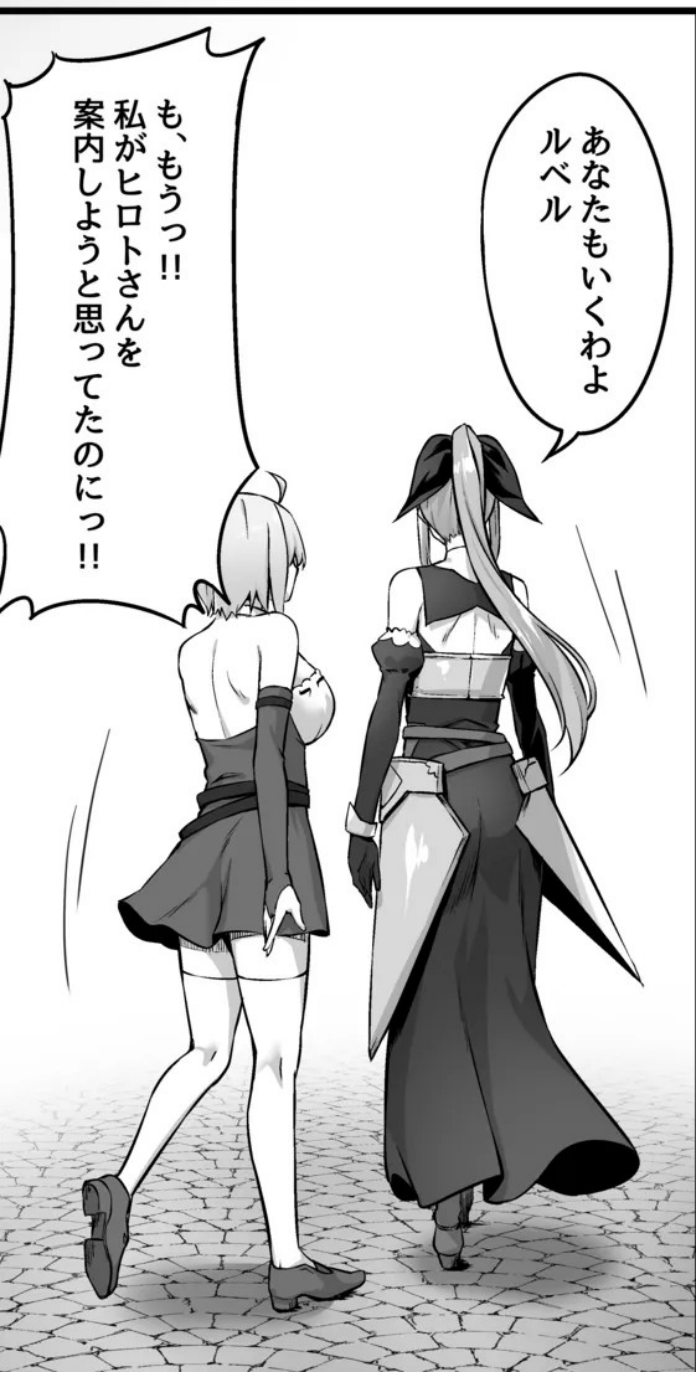
え、えへへ……
ちよつと寄り道
しちゃって……



シエルさんはルベルさんのお姉さんなんだよな……

ということとはシエルさんは騎士団長だけど、王女様でもあるってことだよな……

どうりで綺麗でスタイルも……



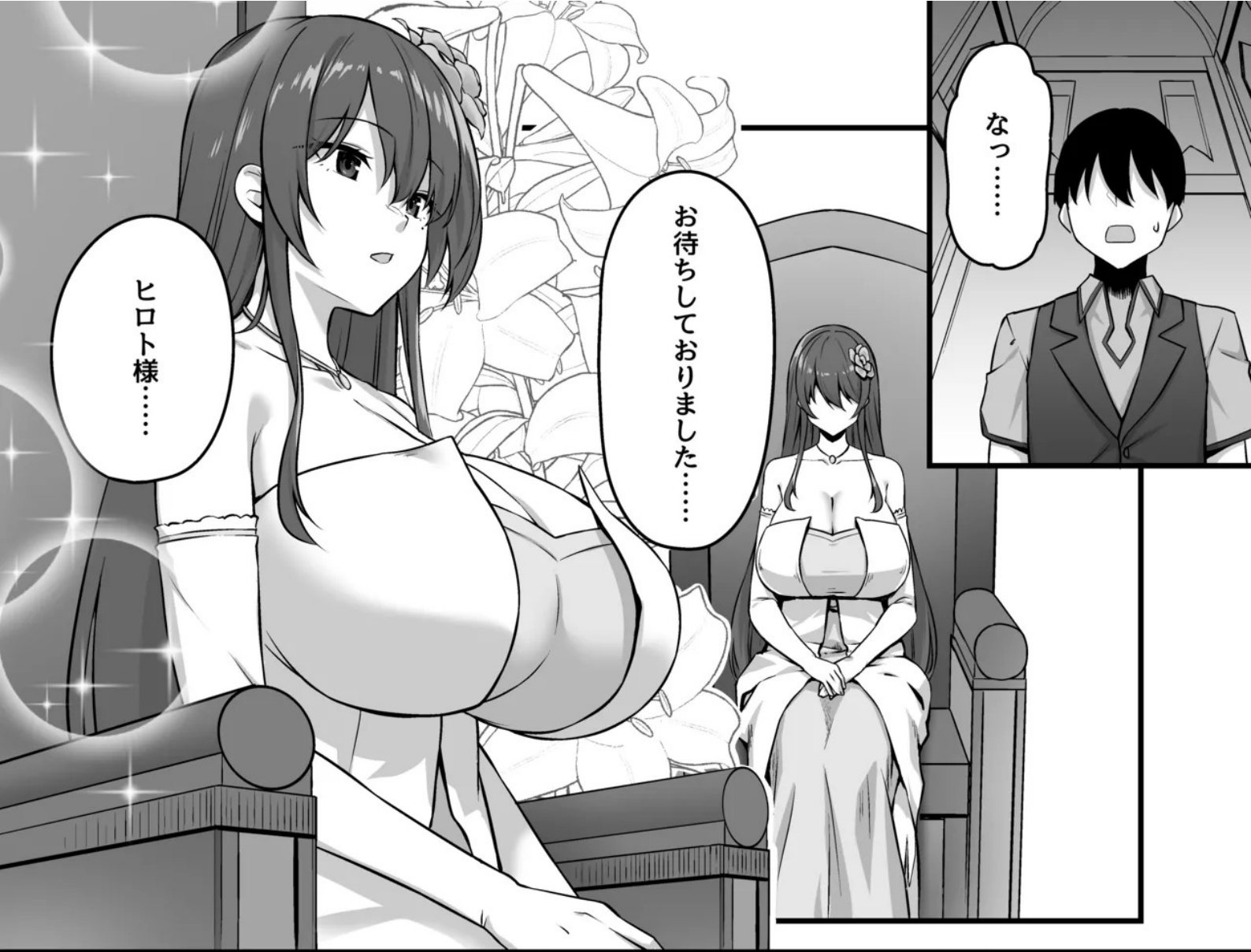
あなたもいくわよ
ルベル

も、もうっ!!
私がヒロトさんを
案内しようと思ってたのにつ!!



それでは王宮へ
案内させていただきます
勇者様

は、はい!!



ヒロト様……

お待ちしております……

なっ……



む、胸がデカすぎる……

この世界に来てからもあんなに大きい胸は見たことない……

これでルベルさんとシエルさんのお母さんなんだよな……

とてもそうは思えない美しさだ……

ん……



ごめんなさい
お母様っつ!!

そ、その……
勝手に王宮を
飛び出しちゃったから……
その……



……
何をそんなに変な
態度を取っているの
ですか？ルベル



ルベル

よく帰ってきて
くれましたね



あのような
強引な婚姻であれば
あなたが出ていくのも
当然でしょう……

お父さんには
厳しく言って
おきましたから
大丈夫です



はい！
お母様！！

改めましてヒロト様、
私はディアナリレオノーラ

フテイ王国の女王で
シエルとルベルの母です

すでにルベルと仲良くして
いただいているようで
ありがとうございます

いえそんな……
こちらこそルベルさんには
良くしてもらっています

ふふ……今度ぜひルベルとの
お話を聞かせてください

ただ……その前に
ヒロト様には
お伝えしておかなければ
ならないことが……

こ、これはっ!!

魔物ですっっ!!



させるかっつ!!
ハイパー
プロテクションっ!!

喰らえっ!!

シエルさんすごい!!
俺のプロテクションよりも
超強力な結界魔法だ!!

うっ!!



ハッハッハ!!

くっ……これは
転移魔法かっつ……?

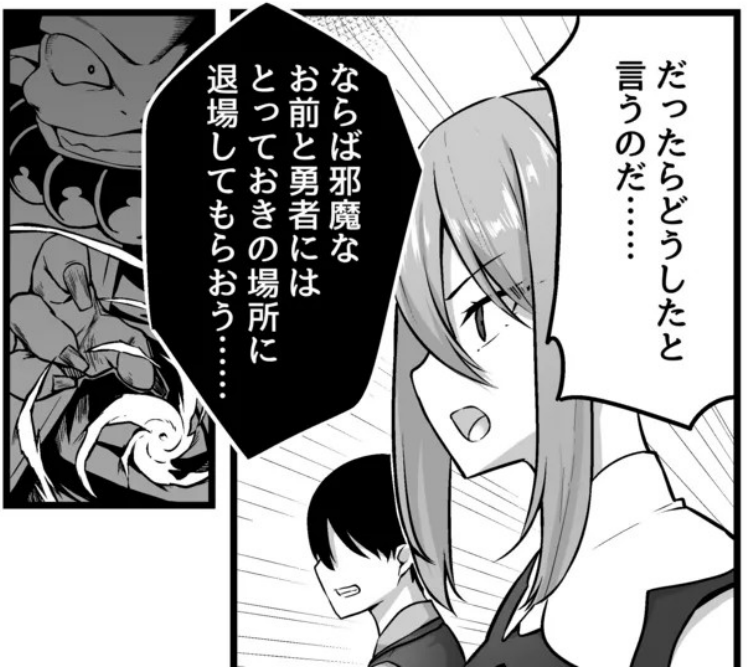
うわっつ!!

ヒロトさんっつ!!
お姉ちゃんっつ!!



小癩な……
ん……?

その薬指の
指輪……
お前もしや
結婚しているのか……?



だったらどうしたと
言うのだ……

ならば邪魔な
お前と勇者には
とっておきの場所に
退場してもらおう……



うわあつっ!!

ここは……
騎士団の
医務室か……?

イテテ……

早く出て
皆さんを助けに
戻らないとっつ!!



勇者様、
扉に
何か書いて
あります



この扉
開かないっつ!?

って……



ええと……
『セックスしないと
出られない部屋』
………?!

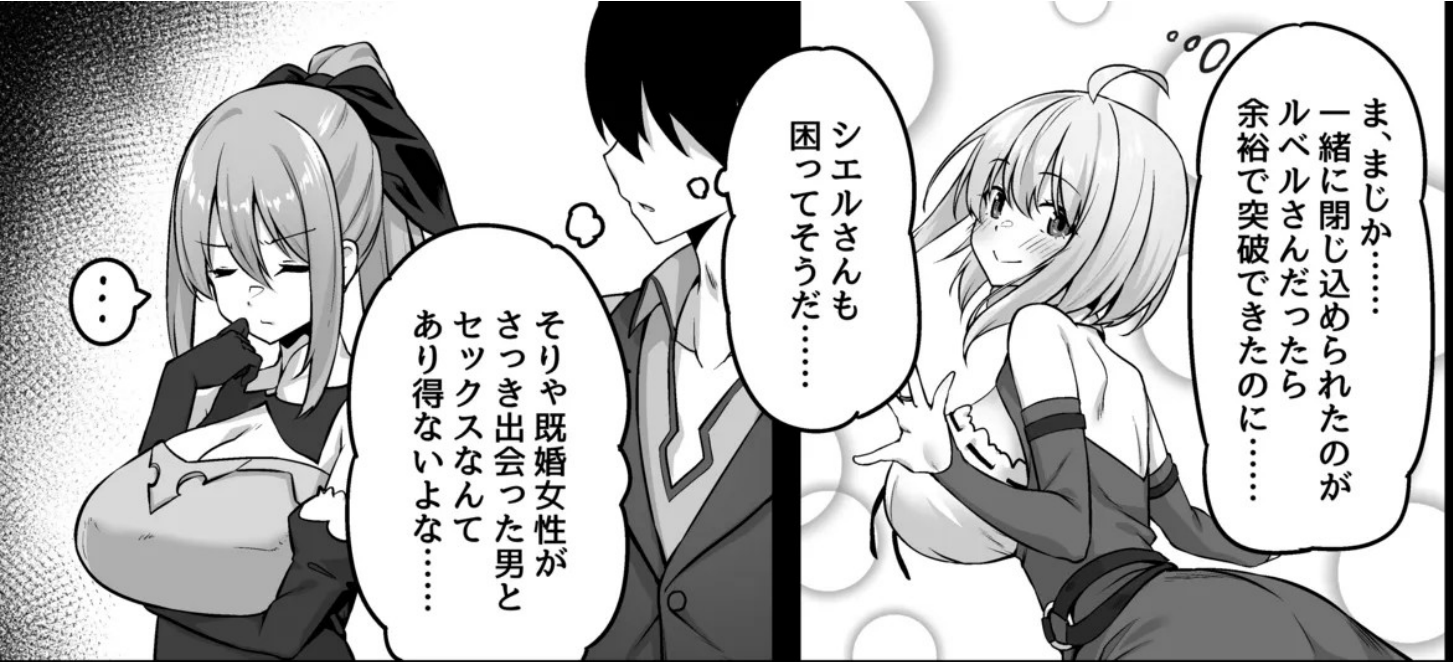
フハハハハ驚いたか!!
これぞ我が奥義「不貞門」

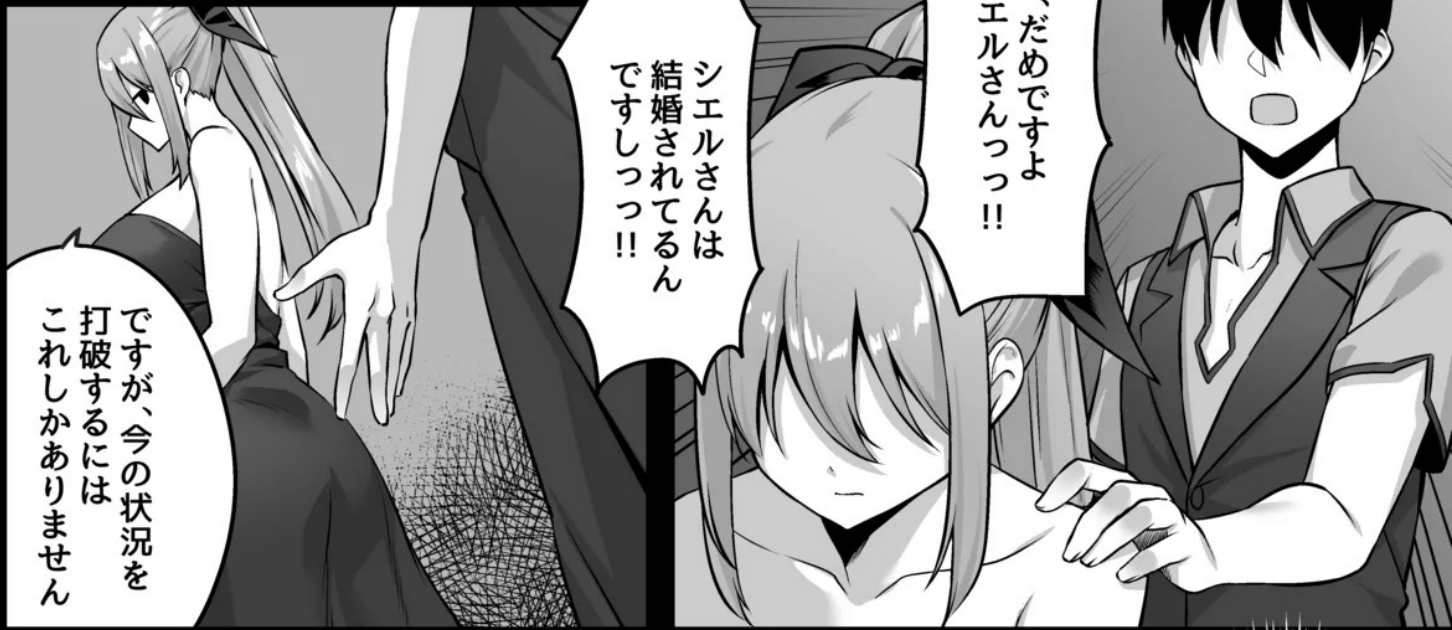
その娘は既婚者のようだから……
いくらお前が噂に聞く不貞な勇者だとしても
さすがにこの条件はクリアできまい……

くくく……そこで仲良く
この王宮が荒れていくのを
見ていると良いぞ……フハハハ!!



破壊もダメですね
なにやら
強力な結界が
張られています……





だ、だめですよ
シエルさんっつ!!

シエルさんは
結婚されてるん
ですしっつ!!

ですが、今の状況を
打破するには
これしかありません



そ、そりや俺だつて
こんな綺麗なシエルさんと
シたいけど……!!
シたいけどお!!

ほ、他に手は
ないんですか……? ?

一刻も早く母やルベル
そして王都の人々を
救いにいかなければ
いけませんから……



っつっ!!

すみませんっつ
俺、浮かれて
全然この状況を
分かってませんでした

シエルさんの覚悟伝わりましたっ
俺も覚悟を決めますっつ

ありがとうございます
ございます
ただ……

あ、あまりこういうことは
経験がなく……
正直、得意ではないので

勇者様に不快な思いを
させてしまいましたら
申し訳ございません……

安心してください
シエルさん、

僕もそこまで
経験があるわけでは
ないですから

にぎっ

勇者様……

わぁっ♡

旦那さんとはあまり
こういうことはされてないのですか……？

お互い初めて同士だったので……
あまりうまくいかずに、こういうことが
2人とも苦手になってしまつて……

そうなんですわね……
旦那さんは
どんな人なんですか……？

国内の有力貴族の息子で
年下なんですわが
真面目で一途で……

私に追いつこうと
運動が得意でないのに
騎士団に入つて頑張つてる……
そんな人です……

今もおそらく城内の人を
退避させていると思います

シエルさん
旦那さんのこと
すつごく好きなんですわね

えっ……

ど、どうして
そう思われたのですか？



だつて急にすごく
饒舌になってましたから

カーアアア

うう……



僕もうまくやれるかは
分からないですけど……
その……

ピト…
僕のことを
旦那さんとする時の
練習台として思って
いただければ
嬉しいです

そんな……
練習台だなんて……



ははは……

じゃあ……

触りますね……

んんん

痛くない
ですか…？

あっつ…♡

は、はい…
んっつ…♡

シエルさんのおっぱい…
超柔らかくて
気持ちいい…

シエルさんのこども
すっごく濡れて
きてますね

乳首、
好きなんです

んあっつ…♡

勇者様っつ♡
あっつ♡

ど、どうして…っ♡
今までこんなに
濡れたこと…っつ♡

ああっつ♡



そこをそんなに
イジられたらっっっ♡

だ、だめです
勇者様っっ♡

あ
あ
あ

か
か

イってるシエルさん……
可愛すぎる……
もっと気持ち良くさせたい……

ゆ、勇者様……？
なに……？

ズ
ズ

あ
あ



すみません……
シエルさんのおマンコ
舐めたくなっちゃって……

んあああああっつっっ♡

だ、だからってダメっっ♡
ダメです勇者様っっ♡
そんなところ舐めたらっっ♡



シエルさん……
マジで可愛い……
たまらない

あっつっっ♡
いつつくっつっつっ♡



すみません
シエルさん……

俺もう
我慢できなくて……



挿れますね
シエルさん……っっ



あ、あれ……
もしかしてシエルさん

そんなっ♡
んあああっっっ♡♡

また
伊つちやいました……?

おっ
おっ

す、すごい……あの人の
とは全然違う……
この奥深くに来る感じが
全然……っっ

ああっっ♥
きもちいいっっ♥
きもちいいです
勇者様あっっっっ♥

シエルさんっっっ!!
シエルさんっっっ!!

ダメっっ
ダメなのにこんなっっ
身体がっっ

勇者様のがっっ!!
すっごくおっきくなっっ!!

中に出さずっっ!!

シエルさんっっ!!
俺もっっ!!

んんん

ヒン
ヒン

おっ
おっ

[Redacted]

[Redacted]

おっ
おっ

おっ
おっ

♡

おっ
おっ

♡

おっ
おっ





半径20メートル以内に配偶者がいる女性と性交を行ったため、スキル『不倫の王』が発動しシエル=レオノーラが所持していた『超結界魔法』指揮スキル『馬術スキル』を習得しました。



ヒロトさんつつ!!
お姉ちゃんつつ!!
無事だったんですね!!

無事ですか
ルベルさんつつ!!



お母様つつ!!
ルベルつつ!!



危ないつつ!!

『ハイパープロテクション』つつ!!



全くもって
反論できない……
が、今はそれどころ
じゃない!!



ぐつつ!!
ま、まさか貴様ら
あの部屋を脱出したのか!?
な、なんて不貞な奴らだ!!
勇者の風上にもおけん!!



もしかして
勇者様は私と同じ
『指揮スキル』も使えるの…？

勇者様の指揮で
力がみなぎる…！

ハァアアア



シエルさんはスキルで
ディアナさんを
守ってください!!

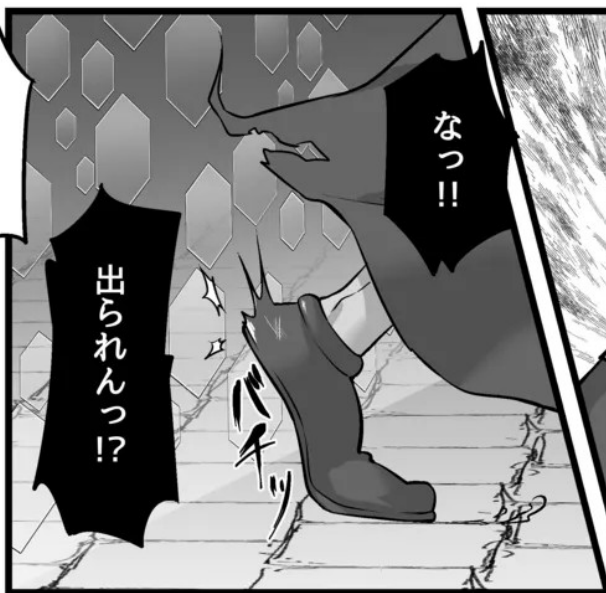
ルベルさんは
俺の近くにつっ!!

は、
はいっっ!!



ルベルさんっ!!

魔物を
閉じ込め
ましたっ!!



なっ!!

出られんっ!?



こうなったら
一度引くしかっ……



えへへ

ヒロトさんとお姉ちゃんが無事なら
もう何も気にする必要は
ありませんね!!

ま、まてっ…!

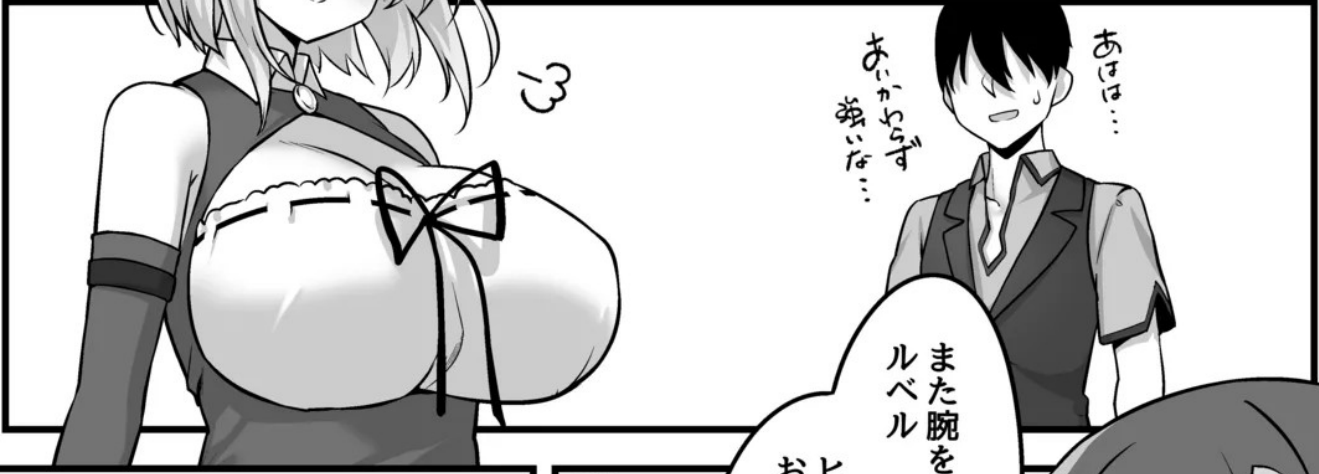
やめろっ!!



そんな
バカな……

この俺が
勇者ではなく

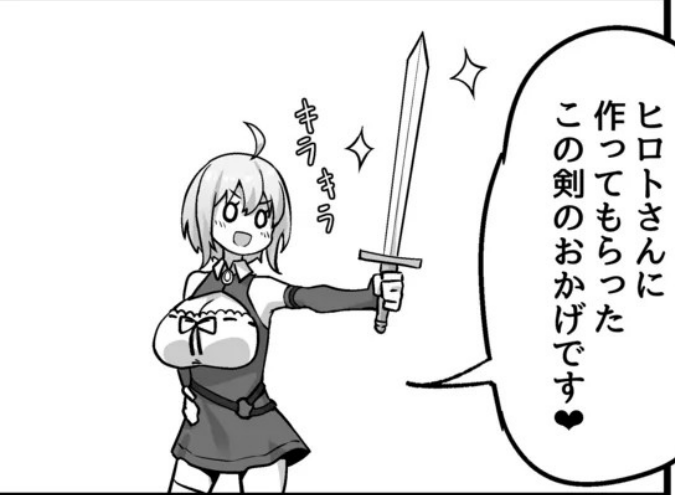
こんな小娘
ごときに……



あはは……

まじかよ
強いな……

♡



キラ
キラ

はい!

ヒロトさんに
作ってもらった
この剣のおかげです♡

ヒロト様の
おかげですか?

また腕を上げましたね
ルベル



だーめ♡

私はヒロトさんの冒険に
付いていくって
決めてるんだもん♡

あなたが騎士団に
入ってくれば
これほど心強いことは
ないのに

きゅ♡

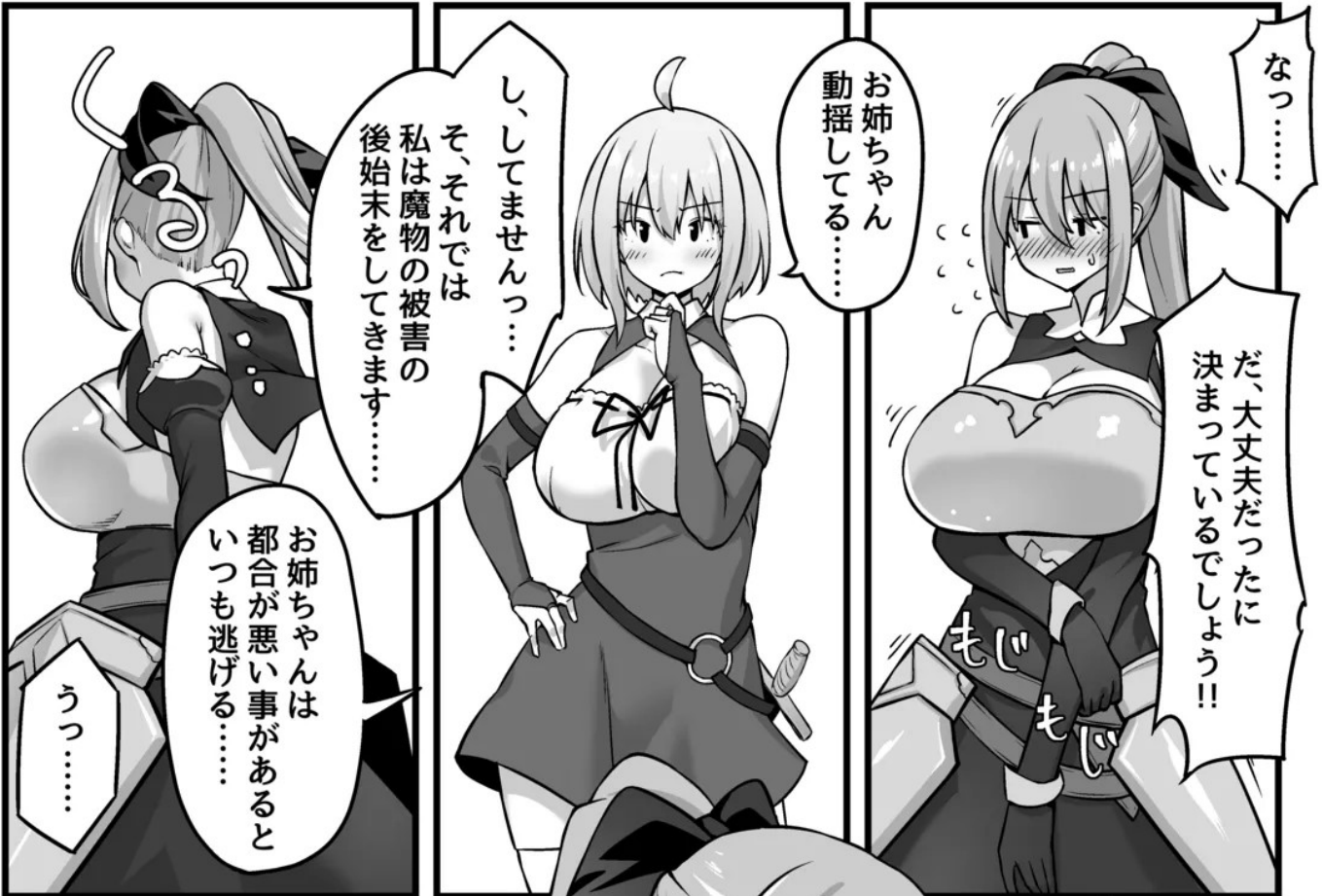




そう言えば2人は大丈夫だったんですか？

どこかに転移されたようでしたけど……

キーン



なっ……

だ、大丈夫だったに決まっているでしょう!!

お姉ちゃん動揺してる……

し、してませんっ……
そ、それでは私は魔物の被害の後始末をしてきます……

お姉ちゃんは都合が悪い事があるといつも逃げる……

うっ……



あ、シエルさんつつ！あの、ありがとうございまして!!

は、はい……
それでは……

……
なーんか怪しいです……

あ、あはは……

ふふ……
シエルとも仲良く
していただいたようで
安心しました

ディアナさんも
ご無事で何よりです

ありがとう
ございます

ところでヒロト様、
今夜私の部屋まで
お越しいただけますか？

ヒロト様の使命について
お伝えしたいことが
あるのです

わかりました
ぜひお伺い
させていただきます

ありがとう
ございます

ではルベル、
ヒロト様を
お部屋まで
案内してあげて

はい！
任せて
ください！！

ヒロト様
それでは

っっ！
は、はいっ！

ディアナさん……

一つ一つの所作に
すごく色気があるんだよなあ……
ついドキっとしてしまう……





私です……

私が封印スキルを所持しています……残念ながら私の魔力量では使えません……



国王様はこのことを……?

夫は王家に嫁いできた婿養子ですからこの伝承を知りません



はい……勇者様の力で私の持つスキルを習得していただきたいのです……

っ、つまり……

それってディアナさんと不倫セックスしろってことっつ!?



ずっと……幼い時からずっと……

勇者様にこの身を捧げることを夢見てきました……

つつつつつ!!

私でもこんなに興奮して
ただで嬉しです…

そ、そんな……
ディアナさんは
とても綺麗です……

さわ

さわ

ふふ……もしよろしければ
ヒロト様をお慰めしても
よろしいですか……?

は、はいっつ……

すごい……
ヒロト様の……
とても立派です……♡

ぽろん

ヒロト様がずっと気にされていた
この胸で挟ませていただきますね♡

ためん♡

ディアナさんのおっぱい
乳圧が
すごすぎるっっ!!
気持ちいいっっ!!

たっパっ

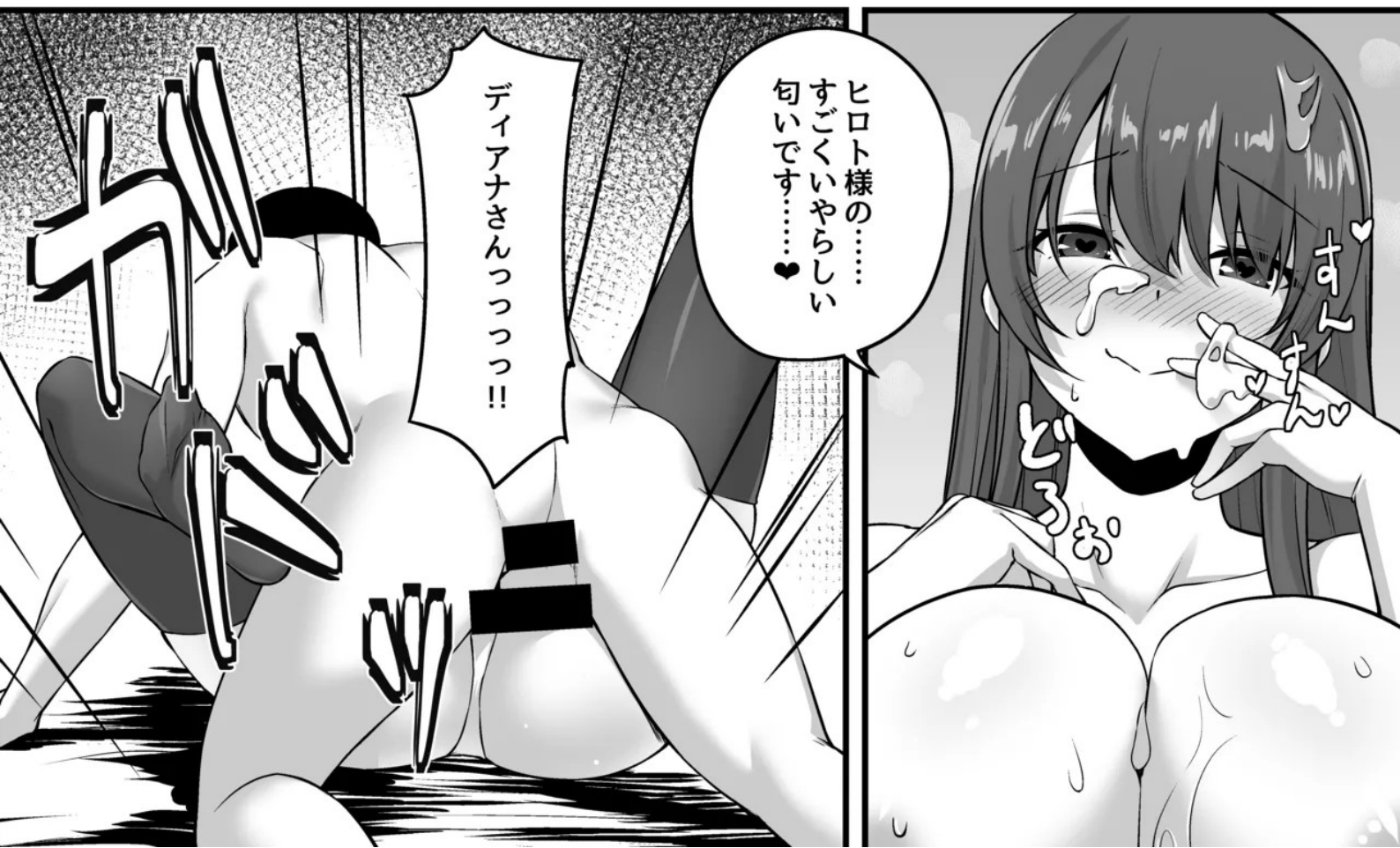
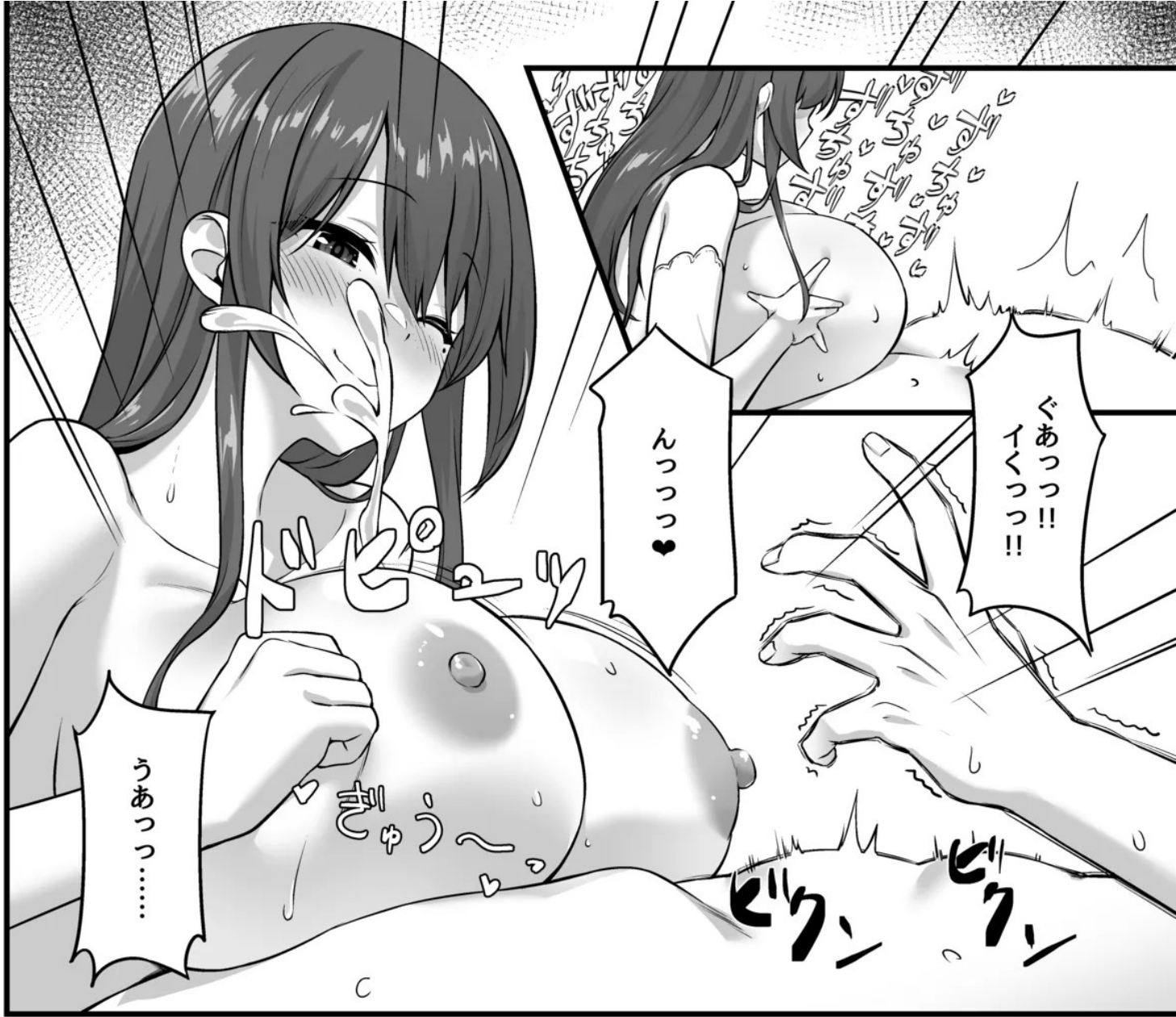
うめっっっ!!



喜んでいただけ
嬉しいです...♡
では動かしますね.....♡



ああっっっ!!





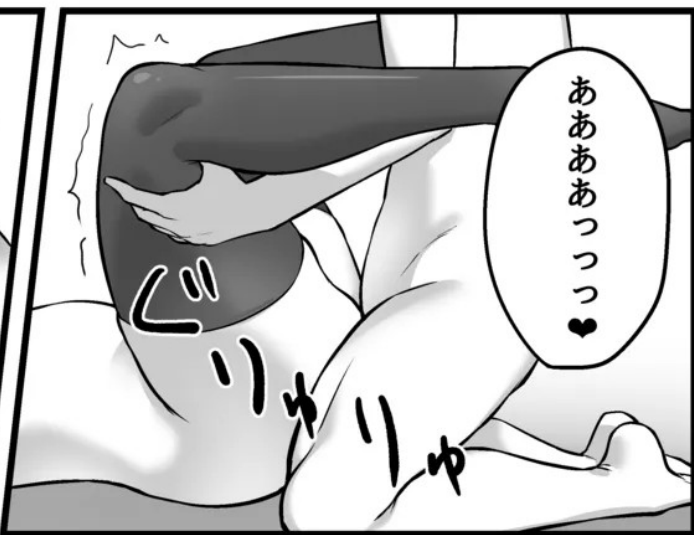
も、もう
我慢できないですよ…
ディアナさんのこと
めっちゃめっちゃにします…



はい……激しく……
してください……♡



ディアナさんつつつつ!!
ディアナさんつつつつ!!



あああつつつ♡



あぁっっっ
すっごいっっっ

すごいです
ヒロト様あっっっ

ディアナさんっすっすっす
種づけしたくなる身体だっっっ!!
えっちすぎるっっっ!!

ディアナさんっっ!!
俺もうっっっ!!

はいっっっ♡くださいっ♡
私にヒロト様の子種をっっ♡

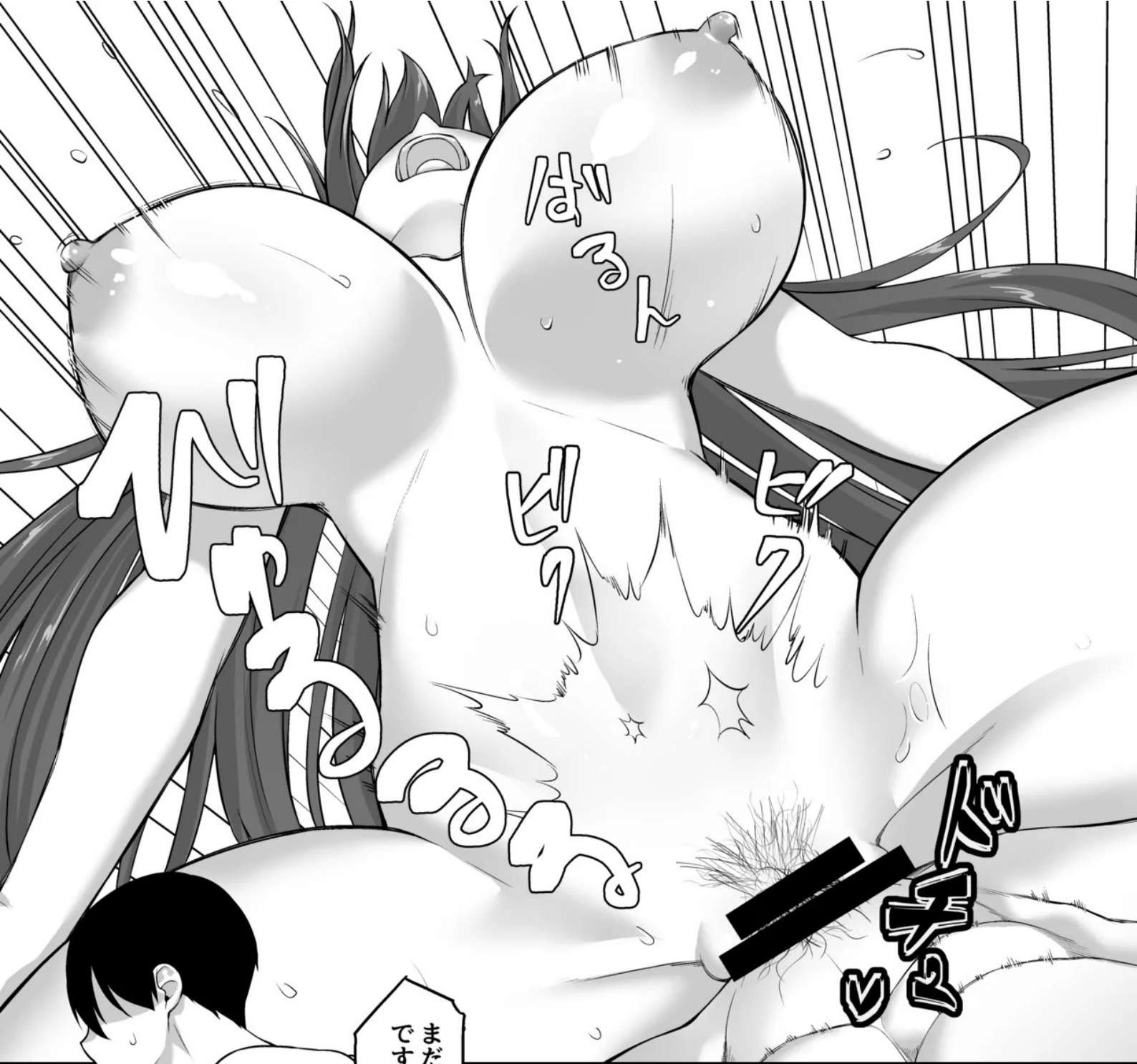
ディアナさんっっ!!
出るっっっ!!



はぁ
はぁ

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ



まだ……
ですよ……

ディアナさんっっ

ヒロト様の
中に……♡

あっ……♡
来てます……♡

はあ

はあ

はあ

はあ

ほんっ

ああっつっつっつ
ヒロト様っつっつ

ほんっ

ほん

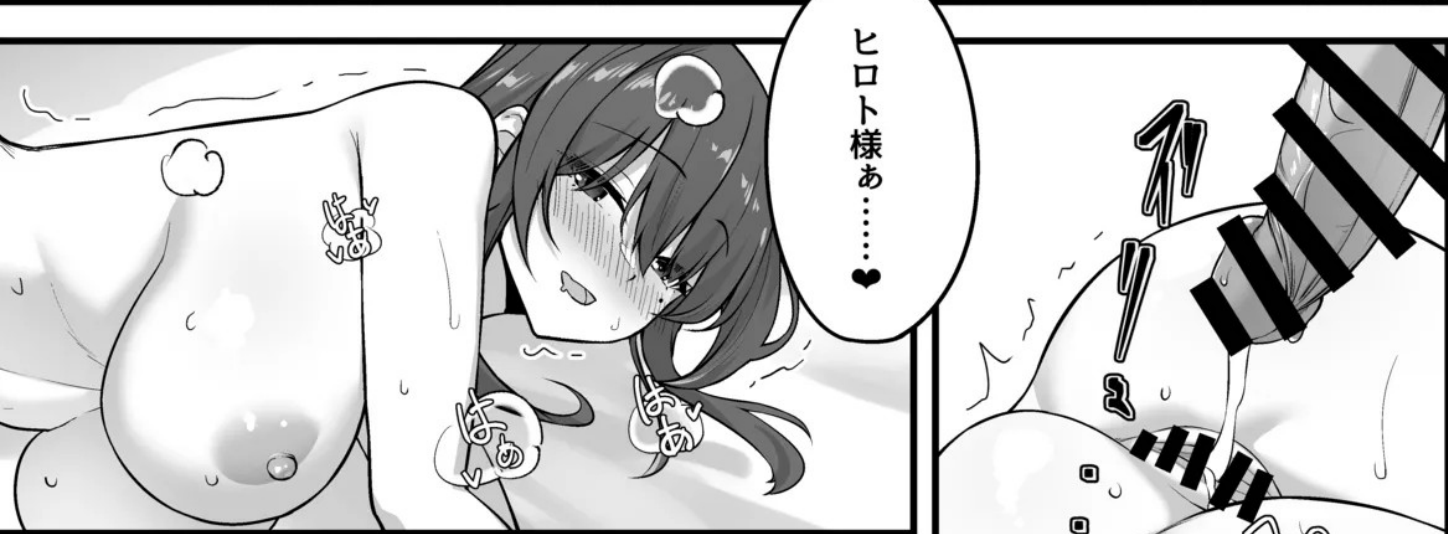
このおつきな尻を
叩いて潰すの
きんもちいっ!!

ディアナさんっつっつ!!
ディアナさんっつっつ!!

ああっつっつ
またヒロトさんのが
硬くなってっつっつ

ほんっ

ほん





そんなこと言われたら
子宮疼いてしまいますっ
❤️
ヒロト様のお子を本気で
欲しくなってしまうますっ
❤️



ああんっっっ❤️ヒロト様
すぎますっっっっ
まだこんなに
硬いなんてっっっっ❤️

ディアナさんとなら俺
何発でもできますよっっ!!
それこそ朝までもっっっ!!

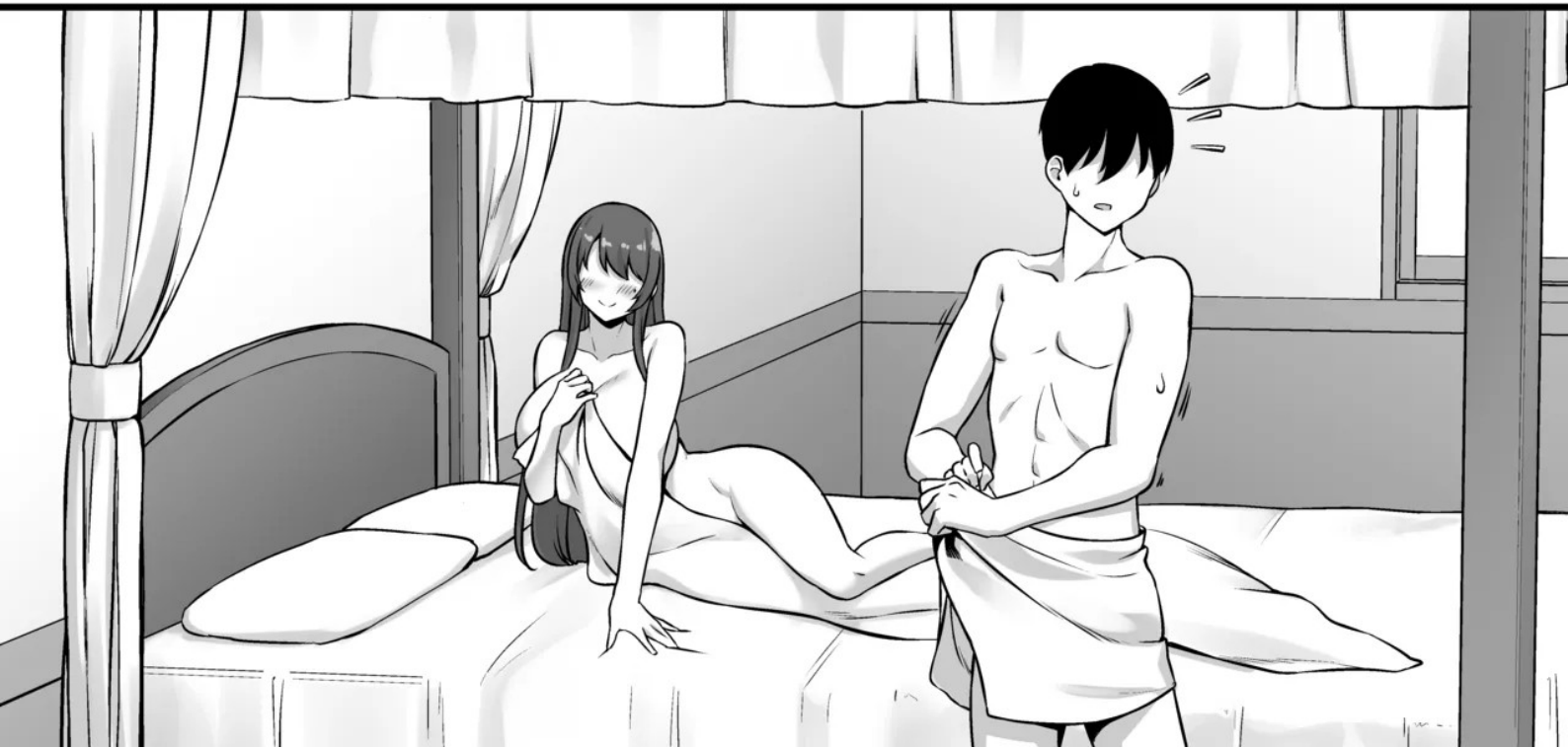


ああっっ!!
ディアナさんの奥に
種づけしますっ!!

ディアナさんの子宮
俺の精子で
パンパンにしますっ!!

はいっっ❤️来てっ
❤️
ヒロト様の子種を
植え付けてくださいっ
❤️







ルベルさん……

それに
シエルさんまで……
ど、どうして……

お楽しみ中に
申し訳ございません
勇者様……その……

できれば私達も
ヒロトさんと一緒に
夜を過ごしたいなって
思っ……



ふふ……
そういうことなら
入室を許可
しましょう……♡



シ、シエルさんも……
本当に良いんですか……？

も、もう少しだけ……
勇者様と練習させて
いただけると……
嬉しい……



さ、みんなでヒロト様に
ご奉仕しましょう♡



すっごくお元気ですね…
お母様…ずるいです…

ヒロトさんのおチンポ…
すっごくいやらしい
匂いがします…

あは♥ヒロトさん、もう
イきそうなんですか？

くっ…

あらあら…
いつの間にシエルも
ヒロト様の虜になって
しまったのかしら♥

そ、それは
2人だけの秘密です…

くっ…

勇者様…
嬉しいです…

だ、だってこんなに
美人で素敵な女性達に
舐められたら誰だって
すぐに興奮しちゃうよっっ!!

うあああっっ!!
ダメですそんなに
されたら俺っっ!!

じゃあもつと
ヒロト様のを
愛してあげましょう♥



お願いします
勇者様…♡

私たちのことも…♡

気持ちよくして
いただけますか…?♡

この母娘を
一斉に抱けるなんて
最高すぎる…っ!!

じゃあまずは
ルベルさんからっっ

はいっっっ♡
んっっっ♡
はあっっっ♡

もちろんお二人も
気持ち良く
しますからね

勇者様あつ♡
そこ気持ちいいっっ♡

シエルさんも
この後たくさん突いて
あげるからねっっ!!

だめですイキますっっ♡
ヒロトさんっっ♡

イクっっっ!!

ヒロト様っっっ♡
その次は私にっっ♡
私にヒロト様の子種を
くださいませっっっ♡



シエルさんっ!!
シエルさんっ!!

勇者様っっっ♥
勇者様のすごく
たくましいですっ♥

お姉ちゃんたら
本当ヒロトさんに
夢中だね♥



いくっっ!!
やばい……めちやくちや
絞り取られるっ……

ヒロト様っっ……♥
私にも……
どうかお情けを……♥



仕方ないわ……♥
だってこんなに
素敵な勇者様
なんですもの……♥

出すよシエルさんっ!!
俺の精子
受け取ってっっ!!

はいっっ♥
くださいっっ♥
勇者様のを
私の中につっ♥





はあ……
はあ……

ヒロトさあん……♡
もつと……♡
もつとください……♡



私も……
今日だけ……
今日だけお願いします
勇者様……♡

ヒロト様……まだ全然
朝まで抱いていただけ
ないですよ……？♡

もちろん
まだまだ
これからですよっ!!

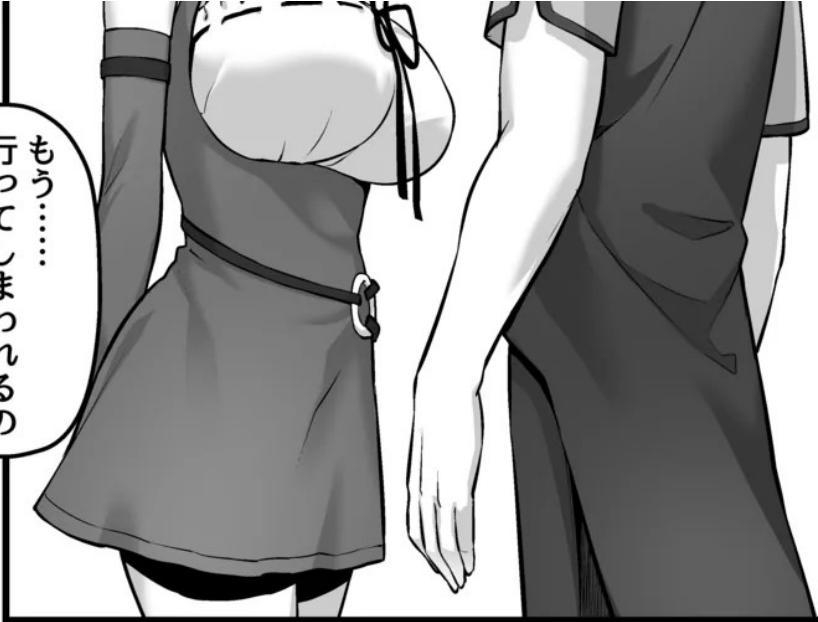
スキル『不倫の王』が発動し、
ディアナ=レオノーラが所持していた
『魔王封印スキル』を習得しました

ああん♡♡♡♡♡





すみません…
シエルさん…
魔王を倒すのが
俺の使命ですから……



もう……
行ってしまわれるの
ですか……？

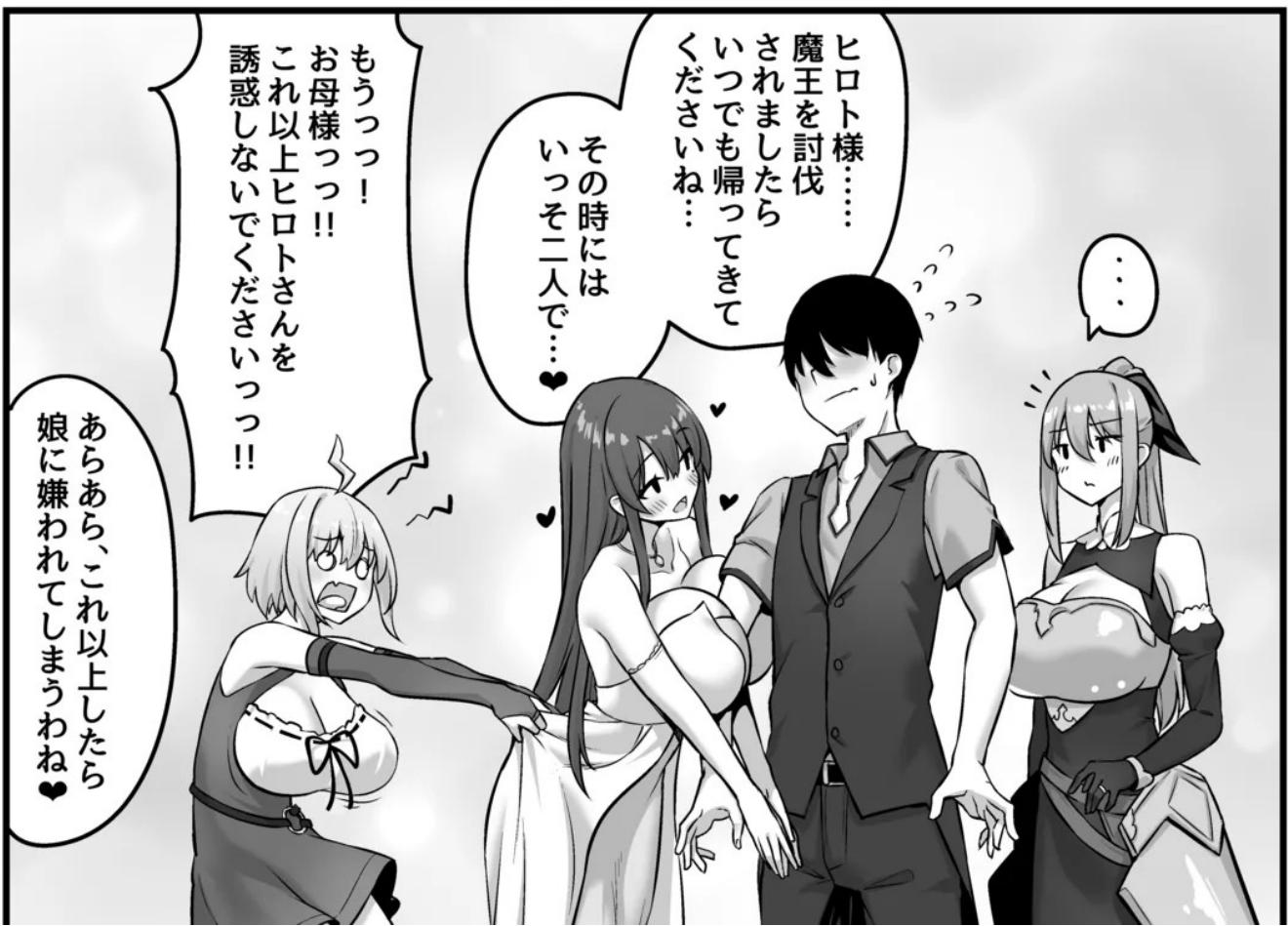


わ、私もっつ……



あ、
ずるいです
お母様っつ

ヒロト様……
ヒロト様の旅の
無事を祈っております……



ヒロト様……
魔王を討伐
されましたら
いつでも帰ってきて
くださいね……

その時には
いつそ二人で……♡

もうっつ！
お母様っつ！！
これ以上ヒロトさんを
誘惑しないでくださいっつ！！

あらあら、これ以上したら
娘に嫌われてしまうわね♡



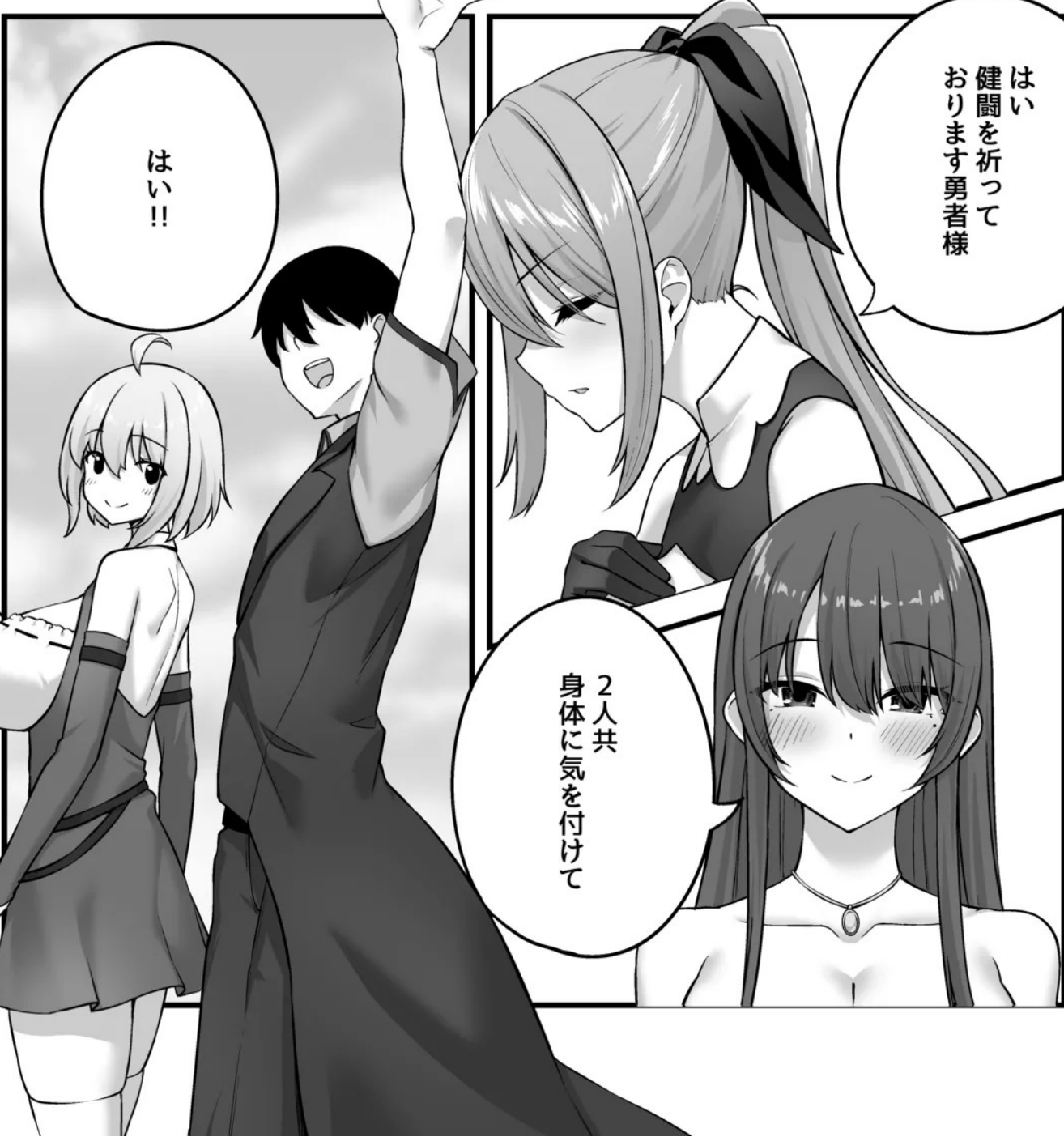
で、では
早速行ってきます!!
デイアナさんも
シエルさんもお元気で!!

私の他にも
あなたの位置を狙ってる
子がいそうだけど……♡

どうかしら?♡

どうやら私の一番の
ライバルは
お母様のようですね……

むううう……



はい!!

はい
健闘を祈って
おります勇者様

2人共
身体に気を付けて

ほう…
ようやく勇者が
この地に向かっておるのか……

ええ…きっと魔王様にも
ご満足いただけるかと……

ふん……その前にどうせ
お前が使い物にならなく
するのだろう……？

もし使い物に
ならなくなったのなら、
それは魔王様に相応しい子では
なかったというだけ……

仰せのままに……

よく言う…
良いだろう
勇者を出迎えてやれ
盛大にな……